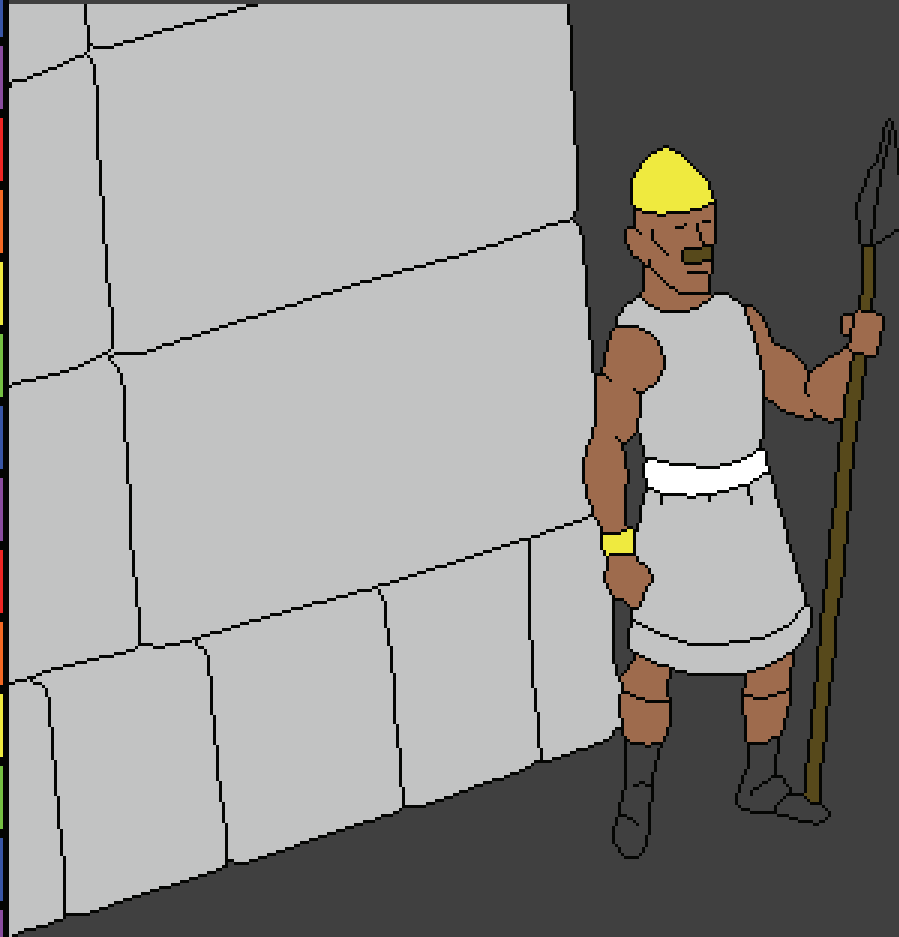


こども

子供のインターネットバイブル

あんない

案内いたします



ネヘミヤの
おお
大いなるかべ



^{ぶん}
文: Edward Hughes

^え
絵: Jonathan Hay

^{かいさくしゃ}
改作者: Mary-Anne S.

^{ほんやくしゃ}
翻訳者: Yuko Kajiki 監修者: Dan Ellrick

^{しゅつばんしゃ}
出版社: Bible for Children
www.M1914.org

©2010 Bible for Children, Inc.

^{きよか} ^{たにん} ^う ^{かぎ} ^{はなし}
許可: 他人に売らない限り このお話のコピー、
^{また} ^{きよか}
又はプリントは、許可されています。



ちから くに
ペルシャという とても力のつよい国が、
はなし くに せかいじゅう
ありました。このお話は、その国が世界中で
いちばんつよかったころの
おう
ことです。そこの王さま
おう
アルタクセルクセス王は、
せかい いち ちから
世界で一ばん力のある
おう
王さまでした。



おう つか たいせつ やくにん ひとり

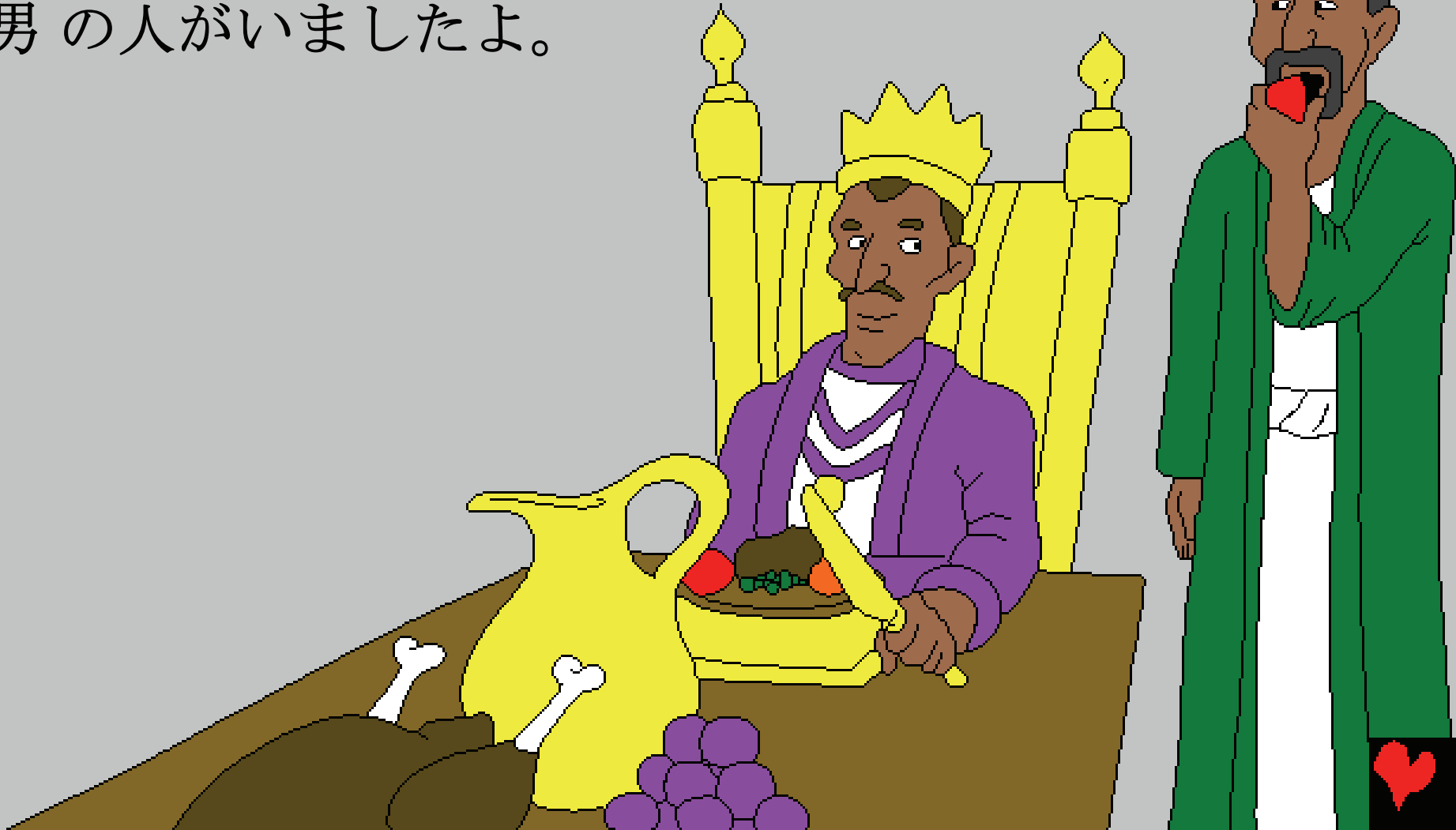
その王さまに、仕える大切な役人の一人に、

じん な

ユダヤ人でネヘミヤという名の

おとこ ひと

男の人がいましたよ。



しごと おう た さき た
かれの仕事はね、王さまの食べものを先に食べて、

はい

「どくが入っていないかな？」って、
しらべることでした。

おう

こうやって、かれは王さ
まを守っていたのです。



ある日、ネヘミヤは、とてもかなしそうなかおをして、
王さまのおう前にまえやってきました。「いったい、
どうしたんだらおうろう。」王さまは、しんぱいです。



ネヘミヤは、おう「王さま、どうか、
ずっといつまでも、
生きてください
ますように。」
い
と言ってから、
はな
わけを話しま
した。



おう

「王さま、わたしが、かなしんでいるのは、

な ちち まち

亡くなったわたしの父が、うずめられている町が、

もん や

あれはててしまい、門も焼かれてしまったからなので

まち

す。」ネヘミヤは、エルサレムの町

のことを、言っているの

ですね。そこは、

なんねん

何年もまえに、

たたかいがあり、

ほろぼされてい

ました。



おう

王さまアルタクセルクセスは、たずねました。

「ネヘミヤ、それじゃ、どうしたらいいのかな？」

おう

おう

ネヘミヤは、王さまにおねがいしました。「王さま、

い

わたしをエルサレムへ行かせて
ください。



そうすれば、町^{まち}をたてなおすことが、
できるのです。」 「よし、わかった。行く^いがいい！」
アルタクセルクセス王^{おう}は、よろこんで、さんせいして
くれましたよ。



おう

それにね、王さまは、

ネヘミヤがたびを^おしているあいだ、

^{まも}守^{おも}ってやろうと思^{やくにん}って、^{てがみ}そこの役人への手紙も、

^も持^もたせました。



おう

王さまはね、それだけじゃなくて、

たす

もっともっとネヘミヤを助けたのですよ。

ひと

か

じつは、アサフという人にてがみを書いて、

も

ネヘミヤに持たせました。アサフは、エルサレ

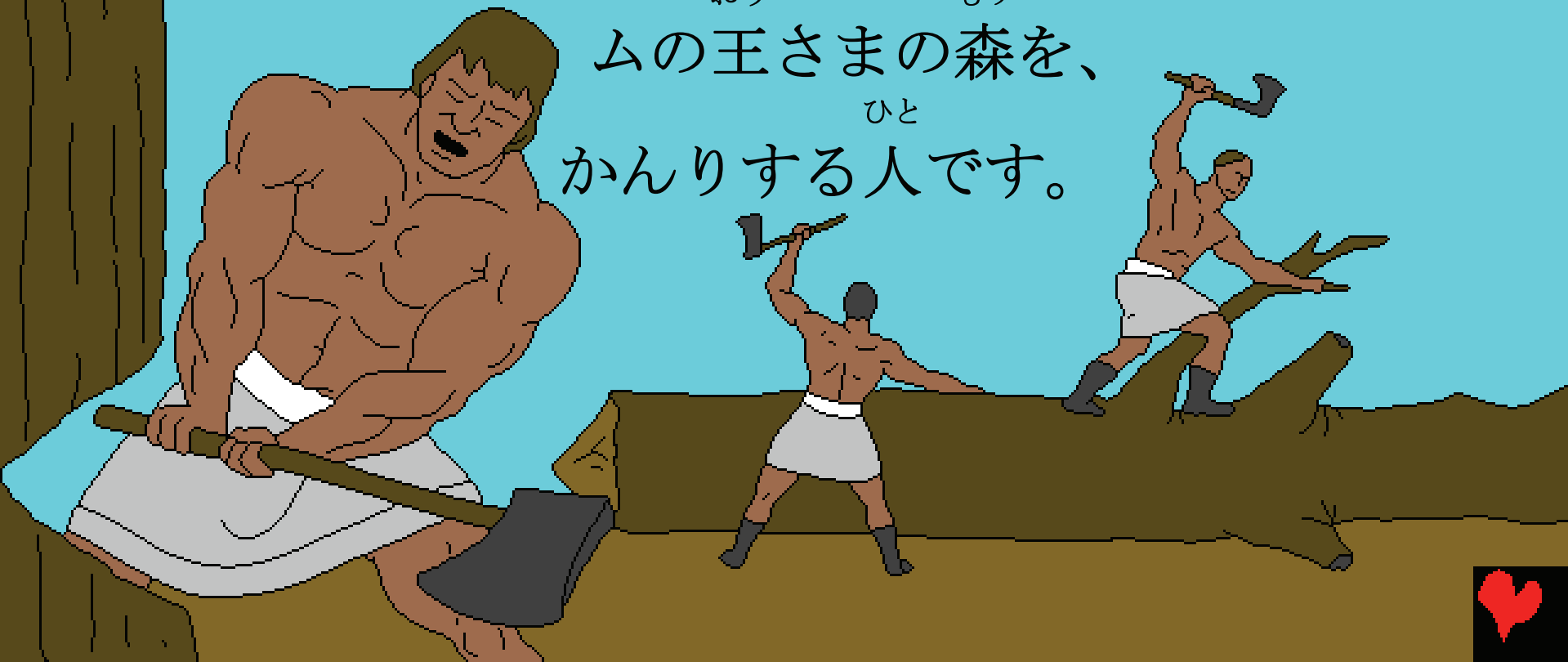
おう

もり

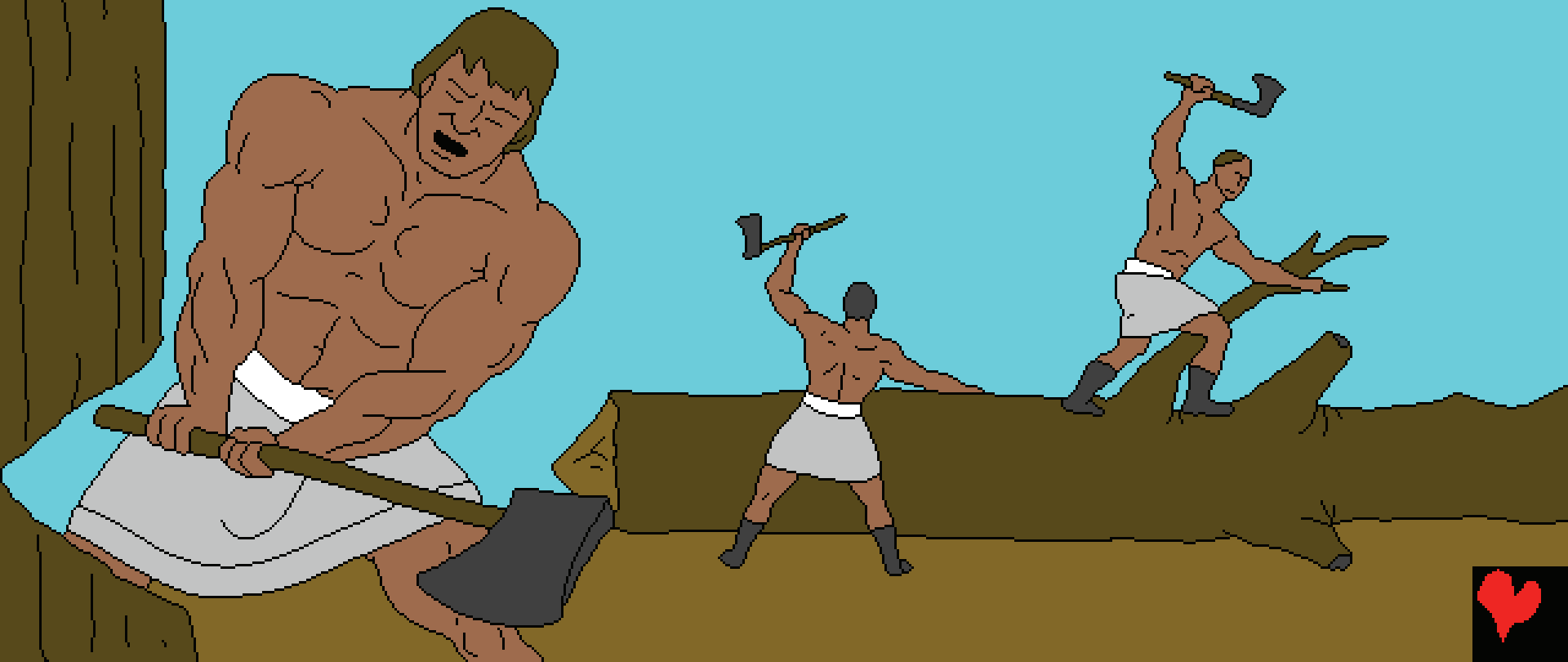
ムの王さまの森を、

ひと

かんりする人です。



か
そのてがみには、こう書かれてい
まち
ました。ネヘミヤが、町のかべをた
つか もくざい
てるために使う木材をできるだけ
ようい
たくさん用意するようにとね。



エルサレムに着いたとき、ネヘミヤは、町の役人たち
を、あつめて言いました。「われわれは、今、
たいへんなときなのだ。この町は、すっかり、
ほろびてしまった。」



もん

門までやかかれてしまったのだから。さあ、みんなで、

あたら

新しくたてなおそうではないか。」ネヘミヤは、かれ

おう

らにアルタクセルクセス王も、さんせいされてい

い

ることを言いました。



そして、

なに いち たいせつ かみ
何よりも一ばん大切なこと、つまり、神さまが、
みかた った
味方してくださっていることを伝えました。



かみ しん もと き
ネヘミヤが、神さまを信じ求めるつよい気もちは、
ひと き
人びとに「やろう！」という気を、おこさせたにちが
い
いありませんね。かれらは、うなずきあって言いまし
た。「ようし、やろうじゃないか！」



ネヘミヤは、

いえ

い

ぶぶん

それぞれの家へ行き、かべのどの部分を、

し

なおさなければならぬかを知らせました。



なお

でもね、みんながみんな、かべをたて直そうって、よ
ろこんで言ったわけじゃないんですよ。サンバラテと

な おとこ ひと

いう名の男の人、...



ふたり とも

...それにかれの二人の友だちトビヤとゲシエムは、

じん

ユダヤ人じゃありませんでした。 だから、

なお

かべをたて直したり、



もん

なお

門をやり直したりしたく
なかったのです。



しごと

み

さて、仕事^{しごと}がだんだんすすんでくるのを見て、サンバラ

はら

テは、とても腹^{はら}がたってきました。そこで、かれとその

とも

ひと

友だちは、ユダヤの人をからかいました。トビアは、

い

こんなことを言いましたよ。



「やあい、そんなに、うすっぺらいかべの^た建てもの
をつくって、どうするんだい？小さなキツネがや
ってきて、こなごなにするだろうさ。」



ネヘミヤは、いくらからかわれても、知らんかお。^し

かわりに、ただ祈りました。だ^{いの}って神さまが、^{かみ}そんなやつらを、さばいてくださるのですから。



なん やく

ネヘミヤたちを、どんなにからかっても、何の役にも
たたないようです。そこで、かれら

けいかく

はいっしょに計画をたてました。



せ

まち なか

あらそ

エルサレムを攻めよう、そして町の中にできるだけ争

し

いをおこそうってね。それを知ったネヘミヤは、

かみ

たす

「神さま、助けてください。」



いの わる
って、また祈りました。そして、悪いやつらに、
せ
とつぜん攻められないよう、
ひる よる み
昼も夜も、見はりばんを、
おくことにしました。



ひと

ユダヤの人たちは、ほんとうにいっしょうけんめい
はたら

働きました。それで、だんだん、つかれてきたよ

ひと

うですよ。ある人たちは、
なんだかこわくなってきた、

かんが

こんなことを考える
ようになりました。

はたら

あいだ

働いている間に、

せ

てきが攻めてきて、

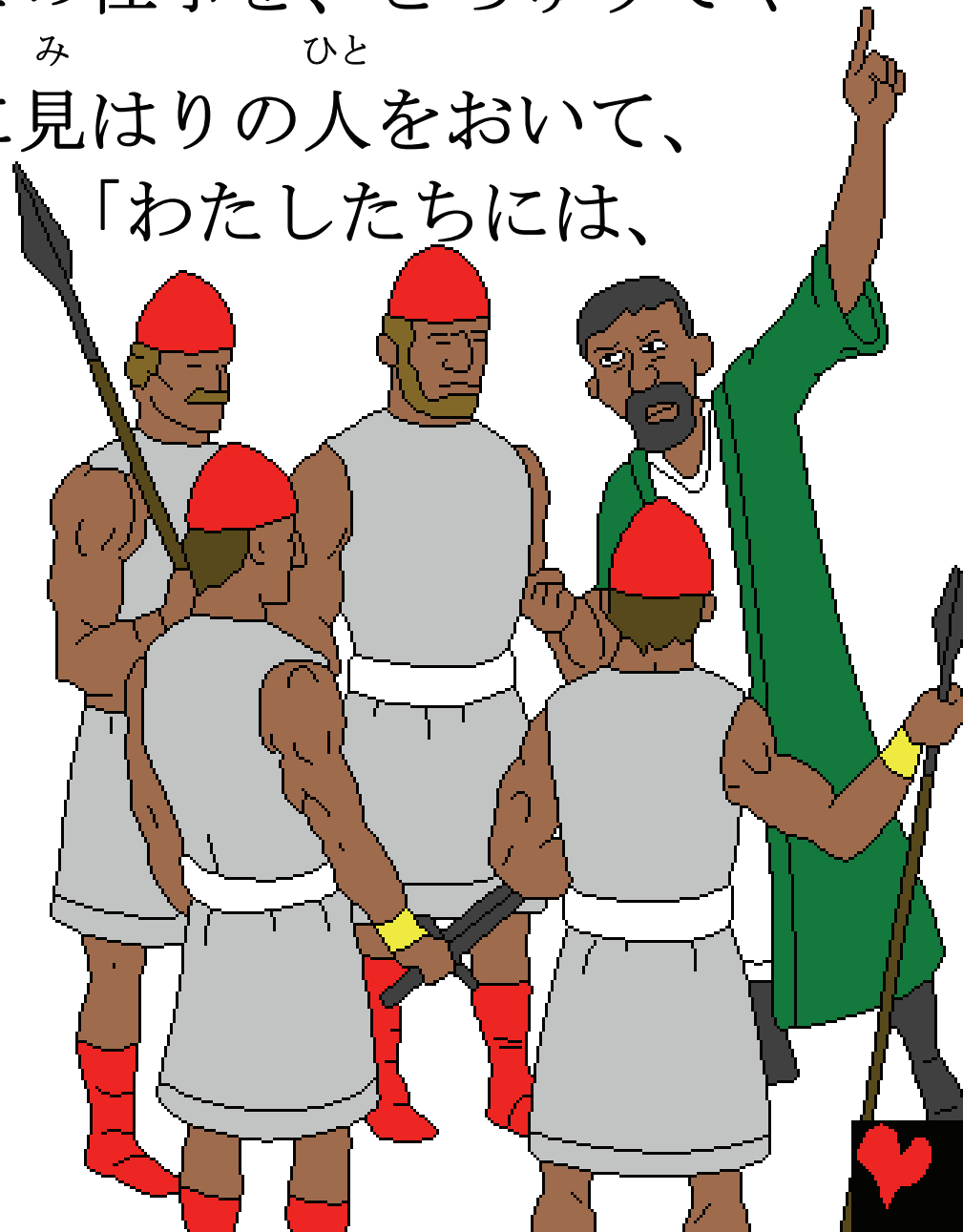
じぶん

ころ

自分たちを殺してしまう
んじゃないだろうかって。



それでも、ネヘミヤは、この仕事を、とちゅうでや
めたりしません。まわりに見はりの人をおいて、
みんなをはげしました。「わたしたちには、
どんなに強いてきよりも、
もっと強い神さまが、つ
いていらっしゃるんだ。」
こういって、
みんなに神さまのことを、
思い出させました。



ネヘミヤは、
てほん

みんなのよいお手本
になろうとしました。

アルタクセルクセス

おう

王は、ネヘミヤをエル

ちょうかん

サレムの長官にし、...





ひと

...人びとからお

かね た

金や食べものを、

とりたてることができ
るようにしました。

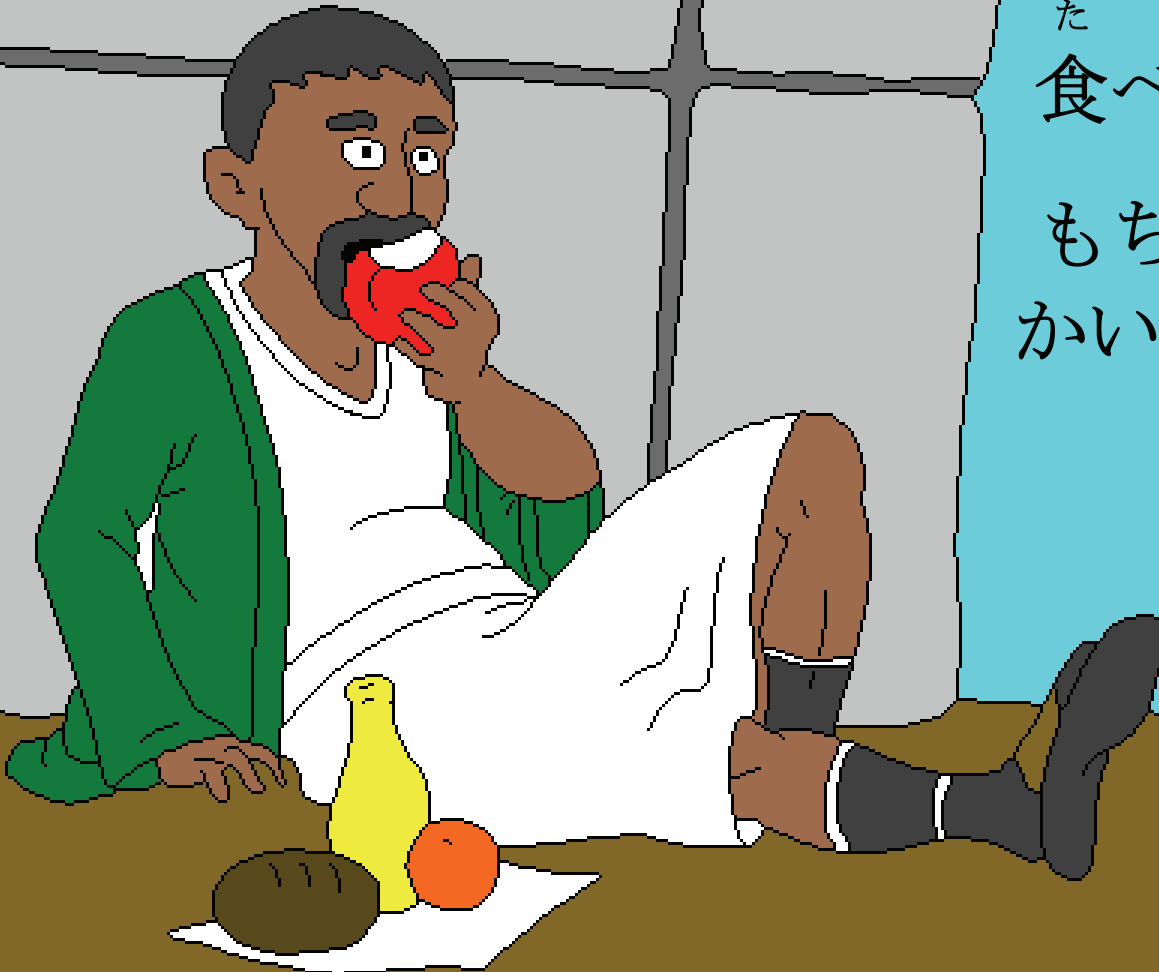
でもね、かれは、
そんなことは、いっさ
いしませんよ。



ただ、

ひとびと

人々といっしょに、



いっしょうけんめい

はたら

働きました。かべを、

あたら

新しくしようってね。

た

か

食べものを買うときは、

じぶん

かね

もちろん自分のお金をつ
かいますよ。



やっとのことで、人々は、
お
かべをつくり終わりました。ただし、
なか もん
まん中の門のとびらだけ、まだですね。



あれあれっ、かべがすっかりできあがったことを聞いたサンバラト、トビヤとゲシエム、

わる

おも

なにやら悪いことを思いついたようですよ。

こま

ネヘミヤを、困らせてやろうって。



かれらは、ネヘミヤにメッセージを送って言いまし
た。^{おく}「オノというところで、^い会いましよう。」^あ
けれども、ネヘミヤは、かれらが自分をだまして、^{じぶん}
^{まち}町からつれ出し、^だ困らせようと
^{こま}しているとわかりました。



そこで、ネヘミヤは、かれらにこのようにへんじを、
か あ
書きました。「わたしは、あなたたちに会いにいけま
いま やす
せん。今、しごとを休むわけにいかないんです。」



とうとう、かべも、
とびらもできあ
がりました。



ネヘミヤは、
まち
町をまもるため、...



み
...あちこちに見
ひと
はりの人をおきま
したよ。



それから、
ネヘミヤはひとつのき
っく
まりを作りました。



ひ
それはね、お日
あ
さまが上がって、



から
空がほんとうに明る
くなるまで、...



もん

...門をあけて
はならないっ
てきまりです。



よる

もん

夜になると、門をみんなしめてしまい、かんぬきが、かけられました。



まち

あんぜん

せかいじゅう

だから、町はもう安全ですね。世界中においやられたユ

ひとびと

ダヤの人々が、またエルサレムにもどってきましたよ。

ネヘミヤは、
うれしくて
たまりません。



どうしてって、たくさんのつらいことをのりこえて、
かみ あた しごと
神さまがネヘミヤに与えられた仕事を、
さいごまでや
ったのです
から。



そのあとも、ネヘミヤは、みんなといっしょにエルサ
レムに住すみました。「いつも、神さまにしたがいま
しょう。」

い
って言って、
はげましつづ
けましたよ。



ネヘミヤの ^{おお}大いなるかべ
^{かみ}神さまの御ことば、^み^{せいしょ}聖書に記されているおはなしです。^{しる}

^きネヘミヤ記

^みあなたの御ことばが^{ひら}開かれると、^{ひかり}光が^{あた}与えられます。

^{しへん}詩篇 119:130



おわり



せいしょものがたり わたし かみ
この聖書物語は、私たちをつくってくださったすばらしい神さまに
かみ かみ
ついて、おはなししています。神さまは、あなたが、神さまのことを
おも
しってほしいと、思っています。

かみ わたし
神さまは、私たちが、よくないことをしてしまったことを、しってい
かみ つみ つみ
らっしゃいます。それを、神さまは、罪とよばれています。その罪の
し かみ あい
むくい、死です。けれども、神さまは、あなたをととても愛してい
ひとり こ よ おく
らっしゃいますので、ただ一人のみ子イエスさまを、この世に送って
つみ じゅうじかじょう な
くださいました。そしてあなたの罪のために、十字架上で亡くなられ
てんごく
たのです。けれどもそれから、イエスさまはよみがえられ、天国のい
しん
えへ、もどられたのですね。もし、あなたがイエスさまを信じ、ゆる
してくださいとおねがいするなら、イエスさまは、ゆるしてください
いま ところ き なか
ます！イエスさまは、今、あなたの所へ来て、あなたのこころの中に
す い
住んでくださいます。そして、いつまでもイエスさまといっしょに生
きることができますよ。



もし、あなたが、これがほんとうだと信じるなら、神さまにこう言っ
てください。

愛する神さま、私は、あなたが神さまと信じます。あなたは人とな
り、私たちの罪のために亡くなってくださいました。そして、よみ
がえって、いま生きて

いらっしゃいます。どうか、私のところの中に来て、罪をゆるして
ください。それで、私は今、あたらしい命をいただけます。そし
て、いつか、あなたの所へ行き、いつまでもあなたといっしょにい
ることができるのです。あなたにしたがえますよう、あなたの子とし
て生きることが出来ますよう、たすけてください。アーメン

まいにち、聖書をよみ、神さまとおはなししましょう！ ヨハネによ

る福音書 3 : 16

